

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

第60回全日本合気道演武大会



第 60 回全日本合気道演武大会

コロナ前と同規模の 7 千名が参加

返り咲く、
合気の大輪



第60回 全日本合気道演武大会

主催：公益財団法人合気会 協賛：スポーツ庁 東京都 NHK 公益財団法人日本武道連盟 日刊スポーツ新聞社 協力：全日本学生合気道連盟



山谷えり子参議院議員・
日本武道館常任理事



植芝守央
合気道道主

第60回全日本合気道演武大会（主催：合気会）は5月27日、日本武道館で開催された。4年ぶりに各種の制限をなくし観客を入れての開催となり、会場には合気道本部道場師範、指導員、全国から集まった師範や修業者など7千人の演武者が集合。観客を併せると1万人に迫り、年を通じて合気会最大の祭典はコロナ前と同規模のにぎわいを見せた。

開会式は可児晋合気会理事による開会の辞のあと、植芝守央合気道道主が主催者挨拶を行った。

「これまでコロナ禍によりさまざまな行事が滞っており、本大会も出場者の制限、無観客での開催を余儀なくされました。今年は制限なく爽やかな気持ちで、皆様とともに迎えられることを大変嬉しく思っております。私たちは世界が和合の心で結ばれるよう、日々の稽古を大切に行っていかなばなりません。本日は、感謝と一期一会の気持ちを持って演武に臨んでいただきたいと思います」

続いて来賓挨拶が行われ、山谷えり子参議院議員・日本武道館常任理事が「コロナ以前に戻ったようにたくさんの方々に集まりいただき嬉しく思います。今の時代・社会こそ合気道の和合の心が大切です。開祖から始まり、二代道主、現道主が繋ぎ導いてくださった合気道の灯火

を皆様とともに繋げて広げていこうと思えます」と述べた。次に山田美樹衆議院議員が挨拶を行い、演武大会に移った。

演武は2部構成で、第1部は関東学生合気道連盟を皮切りに、各団体・指導者が日頃の稽古の成果を存分に披露。参加者の中には、コロナ禍のため大学4年生ながらも初めて演武大会に参加する学生もいた。参加者は各々の精いっぱい演武を行い、終了時に盛大な拍手が送られていた。第1部の最後は植芝充央本道道場長が自由演武で締めくくった。第2部では、4年ぶりに海外道場の演武も行われ、終盤には年齢93の多田宏本師範が年齢を感じさせない力強い演武を行った。

最後に植芝道主が「3年間にわたって、さまざまな行事が滞っていましたが、今日を迎えられたのも、その時々を皆様ができることを精いっぱいやってきた成果だと思えます。これを機に再び大きな輪を作ってくださいと思います」と述べ、基本を中心とした立ち技、座り技から多人数掛けまでの総合演武を披露し、大会は盛雲のうちに幕を閉じた。





植芝充央本部道場長



多田宏本部師範



遠藤征四郎師範



安野正敏師範



関昭二師範



烏海幸一師範



横田愛明師範



菅沼守人・合気道祥平塾道場長



小林保雄・合気道小林道場総師範



工藤泰助・合気道敷島塾名誉会長



和田昭・名古屋合気会師範



稲垣繁實・茨城支部道場指導部師範



石原克博・石芯塾師範



嶋本勝行・合気道豊中正泉寺道場道場長



木村二郎・合気道大阪武育会会長



五十嵐和男・合気道五十嵐道場道場長



窪田育弘・奈良合気会師範

各道場師範の演武



畑山憲吾・合気道研心会代表



日高浩・岩手山麓誠風館館長



澤田俊晴・央名会気守道場道場長



滝本清三・尾張合気会会長



本部道場指導部師範の演武②



菅原繁師範



小林幸光師範



栗林孝典師範



金澤威師範



藤巻宏師範



森智洋師範



櫻井寛幸師範



入江嘉信師範



桂田英路師範



難波弘之師範

日本武道館の単行本

大人も子どもも読んで読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授
田代しんたろう 著

合気道は多田宏、磯山博、菅沼守人先生と、
東北大学学友会合気道部を掲載！



B5判・236頁

お問い合わせ・ご注文は

道場演武



参加者の声

▽中学生男子

「初めての出場場で緊張しましたが、練習通りにやれたと思います。演武では、みんなとの距離を確認して、ぶつからないように気をつけました。日本武道館には初めて来ました、すごい建物だなと思いました」

▽60代男性

「とにかく疲れました(笑)。日本武道館での演武は久しぶりで、2回目です。古武道の大会とかも観覧していましたが(武道館を)下から見る景色は全然違いますね。感動しました」

▽50代女性

「武道館に初めて来ました。演武では周りの方の熱意がすごく伝わってきて緊張しましたが、何とかやり切れました。内容はまだまだですが、よかったです。明日からまた稽古に励みたいと思います」

▽大学生女子

「大学1年生からちょうどコロナとなり、私たち4年生は稽古ができない不遇な学年でした。演武大会は初めての出場です。こんなに人が多い



15

とは思わずびっくりしました。演武大会の1カ月前からいつもの稽古に加えて、大会のための稽古もしてきました。自分たちが今出せるものを出し切れたと思います」

▽高校生男子

「練習期間は1週間と短かったけれど、みんな揃っての演武ができ、なかなかよかったです。武道館が想像していたよりも大きくて緊張しました」

日本武道館の単行本



剣道の文化誌 明治大学教授 長尾 進 著
四六判・上製・480項・定価2,640円

本書では剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひ一読を。



剣道 その歴史と技法 埼玉大学名誉教授 大保木輝雄 著
四六判・上製・516項・定価2,640円

本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後5年のときを経てついに単行本化。



合気道 その歴史と技法 合気道主 植芝守央 著
四六判・上製・362項・定価2,640円

世界140の国と地域、国内2,400の道場・団体で愛好される合気道。開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み。その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。



空手道 その歴史と技法 小山正辰・和田光二・嘉手苅徹 著
四六判・上製・548項・定価2,640円

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇糸衝流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苅徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苅氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一作。



マンガ・日本武道風土記 漫画家・引附大学客員教授 田代しんたろう 著
B5判・248項・定価1,100円

全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐる。



死ぬまで弓道 弓道教士七段 小牧佳世 著
四六判・上製・342頁・定価2,640円

競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道で再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが悩む課題などを検索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記した弓道伝記かつエッセイ



学校武道の歴史を辿る 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著
四六判・上製・354項・定価2,640円

明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

10.8

ご注文・お問い合わせ

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<https://www.nipponbudokan.or.jp>



【演武者一覧】

■第1部

- 1 学生連盟演武 関東学生合気道連盟
2 指導部師範演武 伊藤真、佐々木貞樹、鈴木俊雄、小山雄一
3 指導部師範演武 入江嘉信、森智洋、桜井寛幸、桂田英路、難波弘之
4 道場演武 朋清会等々刀道場、習練道場、合気道自由が丘道場、合気道練馬総合体育館道場、池袋合気道同好会/戸田合気会
5 道場演武 合気道蹴守道場、新小岩合気会、合気道土井道場、合気道布道場、東村山市合気道会/日高市合気道同好会
6 道場演武 合気道修練道場自然館、合気道小井同好会、東大和市合気道会、裾野昭武会、多摩川合気道会
7 道場演武 荒川合気会、渋谷区合気道同好会、仲池合気道同好会、合気道清瀬会、合気道初心会
8 道場演武 葛飾合気会、合気道進修道場、荻窪合気道同好会、町田合気会、千葉合気道友会
9 道場演武 千葉合気道館、合気道清瀬会、合気道正心会、船橋合気道道友会、深谷合気会
10 道場演武 合気道大宮道場、A & P合気道石垣道場、合気道道場、大宮合気道倶楽部、啓明会
11 道場演武 合気道道徳会、合気道道明会、合気道豊田道場、武蔵村山合気道会、絆、勝福和合気道道場
12 学生演武 学生連盟外、ひたちなか合気会、世田谷大原合気会、合気道池沼教室、合気道相模和道会
14 道場演武 我孫子合気会、武蔵小杉合気道会、合気道瀧田塾、尾山台地域体育館合気道教室、守清館
15 道場演武 新所沢合気道同好会、新郷合気会、鶴岡八幡宮研修道場合気道科、小田原合気会、合気道弘能會明心館道場
16 道場演武 合気道盛岡道場、合気道武蔵会、東誠和会、幸優会、大田合気道青葉塾道場
17 道場演武 大田合気道会、草加合気道研究会、合気道幸徳会、横浜南合気会、向ヶ丘館合気道道場
18 道場演武 合気道川口守道場、合気道麻生同心会、央名会守道場、大和合気道クラブ、旭合気道クラブ
19 道場演武 名古屋合気会、尾張合気会、合気道吹上道場、岡崎合気道道徳道場、合気道名古屋道場
20 道場演武 兵庫合気道会姫路道場、白光真宏合気道道場、岡山県合気道交流協会、合気道田悠会、武産浦帆道場
21 指導者演武 北中雄士(大阪)、猪瀬隆真(栃木)、相場健太郎(新潟)、松尾進吾(広島)、國分勇佑(東京)
22 指導者演武 四宮千里(奈良)、成田貴之(秋田)、工藤聖一(宮城)、宮永一真(群馬)
23 道場演武 合気道研究会/インターナショナル、葉山町合気会、桜台合気道クラブ、合気道春水道場、合気道凱風館
24 道場演武 合気道大阪武育会、奈良合気会、大阪合気会、和氣會、春風合気道会
25 道場演武 合気道研心会、高松合気会、合気道桶川愛

- 合気会、和合館合気道修練道場、南海合気会
26 道場演武 合気道京都部、柏合気会、江東区合気会、野田合気会、湘南藝芸合気道クラブ
27 道場演武 相生會、合気道道場、目黒区合気道連盟、藤沢合気道倶楽部、綾瀬市、海老名市合気会、相模合気道連盟
28 道場演武 相生會、合気道道場、合気道石田塾、那山合気会、合気道道徳道場
29 道場演武 合気道石志塾、合気道神武錬成塾、合気道花見川道場、佐倉合気会、文京区合気会
30 道場演武 合気道新川塾、流山合気会、合気道宇宙の会、広島合気会、西川口合気道クラブ
31 道場演武 千住合気会、合気道木下道場、大成合気道会、合気道唯心館杉野道場、船橋木下道場
32 道場演武 合気道五十嵐道場、杉並合気会、合気道小川会、新見合気会、東京都庁合気道場、経済産業省合気道部、稲門合気道倶楽部、国際協力機構(JICA)合気道部、東京消防庁合気道部会
34 社会人団体演武 N.H.K合気道部、宏心会、朝日合気会、志念会、国立印刷局合気道部
35 社会人団体演武 国合合気会、ソニー合気会、N.T.T.東日本東京合気道部、三井住友銀行合気道部、セーフトエイカド警備株式会社合気道部
36 社会人団体演武 T.H.I合気会、富士通合気道部、第一三共合気道部、富士通理工合気道部、城南合気会
37 道場演武 茨城県合気道連盟I、II、III、IV、V
38 道場演武 埼玉合気道連盟、合気道兵庫県連盟、富山県合気道連盟、静岡県合気道連盟
39 道場演武 北海道合気道連盟、新潟県合気道連盟、和歌山県合気道連盟、愛媛県合気道連盟
40 道場演武 愛知県合気道連盟、神奈川県合気道連盟、岡山県合気道連盟、奈良県合気道連盟、群馬県合気道連盟、大阪府合気道連盟、高知県合気道連盟
42 道場演武 東北合気道連盟(宮城県)、(福島県)、(岩手県)、(山形県)、(青森県、秋田県)
43 指導者演武 鈴木大森(京都)、住吉康浩(長野)、杉浦尚哉(静岡)、和田尊之(和歌山)
44 指導者演武 前田大拓(福岡)、加藤隆寛(神奈川県)、張俊吾(愛知)、平賀真一(山形)
45 指導者演武 和田拓之(三重)、清水拓市(埼玉)、清野北斗(千葉)、林幸志(北海道)、池坊彰泰(兵庫)
46 防衛省合気道連盟、防衛省合気道連合会、茨城支部道場指導部師範演武、茨城支部道場指導部師範、大田和幸正、磯山俊博、永島義道、平澤憲次、秋本英裕
48 合気道学校演武 上級課程、中級課程、初級課程
49 指導部師範 指導員講習 基本技抑之 本部道場指導部師範、日野晴正、本部道場指導部指導員、梅津翔/里緒
50 指導部指導員演武 基本技控行 本部道場指導部指導員、松村光/桑原将太/藤田すみれ/中村仁美/有馬

- 51 指導部師範演武 本部道場指導部師範、小林幸光/菅原繁/栗林孝典/金澤威/藤巻宏
52 自由演武 本部道場長、植芝守央
■第2部
1 学生連盟演武 関西学生合気道連盟、中部学生合気道連盟、北四国学生合気道連盟
2 学生連盟演武 全九州学生合気道連合会、北海道学生合気道連盟、東北学生合気道連盟
3 高等学校演武 全国高等学校連盟
4 中学校演武 中学校演武
5 文化センター演武 合気道石志塾野合気会、えきすポム文化センター、朝日カルチャー(立川)、スポーツエントテイメントA-1町田、ロンドスタイルマックス成増合気道教室
6 文化センター演武 よみうりカルチャー(恵比寿、大森)、(北千住、八王子)、(横浜・川崎)、(錦糸町、自由が丘)
7 文化センター演武 日本武道館武道学園、カルチャー合気道教室、華凛会
8 海外道場演武 フランス、ベルギー、チリ
9 海外道場演武 ブルガリア、ルーマニア、韓国、台湾
10 指導者演武 渡邊実(埼玉)、濱津邦仁(福島)、宮尾美佳(和歌山)、片藤龍一(新潟)、河野友彦(北海)
11 指導者演武 吉川良子(群馬)、川越敬子(北海道)、高木克吉(青森)、ケイザ知子(京都)、福田大悟(栃木)
12 指導者演武 石渡和巳(奈良)、ギョーム・エランド(神奈川)、山下大介(大阪)、石原匡師(静岡)、シリ、サイド(茨城)
13 道場演武 浦和合気会、秩父合気道進修館、入間幸武館道場、合気道川越道場
14 道場演武 佐久合気道会、大塚道場明道館、合気道健武館、平塚合気会、府中合気会
15 道場演武 明治会グループ、蓮田合気会、せいぶ館合気道隊能会、白光合気道会船橋道場
16 道場演武 新宿スポーツセンター合気道教室、北総合気会、鷹の台合気道道場、双峰合気道会、久喜合気道同好会
17 道場演武 合気道小田道場
18 道場演武 中野区合気道会、中央区合気会、新宿合気会、千代田区合気会、港区合気会
19 道場演武 江戸川区合気道連盟、北区合気道会、板橋区合気会、八丁市合気道連盟、品川区合気道交友会
20 指導者演武 野田和利(兵庫)、デューノ、セバスチャン(愛知)、岸部高志(秋田)、渡辺天(千葉)、田中直樹(岡山)
21 指導者演武 菅沼克彦(福岡)、有智要(長野)、伊師将登(東京)、白川竜次(宮城)
22 社会人団体演武 日経合気道クラブ、合気道新日本祥央会、合気道正隆会、シビル合気道部、広島市役所合気道同好会
23 社会人団体演武 三菱合気道部、裁判所合気道部、東京税理士会麻布支部合気道部、理双会、公認会計士合気道同好会

- 24 社会人団体演武 東芝合気道部、明治大学教職員合気道倶楽部、川崎市役所合気道部、日本歯科大学OB教職員合気道部
25 道場演武 祖師谷合気会、小牧合気会、玉禪寺合気道場、合気道入江道場、合気道れいめい会
26 道場演武 合気道龍野塾、市原合気会、小山合気会、江戸崎合気会、合気道松心館
27 道場演武 青山会、つばな久合気道友会、甲府合気会、合気道青勝会、鎌倉合気会
28 道場演武 合気道祥平塾、西新宿合気会、合気道自灯館道場、春陽会、横浜国際合気道会、合気道「倫」、合気道青楓会、沼津合気会、藤倉成会
29 道場演武 合気道城越道場、京都合気会、京都近江合気会、合気道和光道場、相模原合気道連盟、合気道黎明道場、志木合気会、合気道三澤塾、東京合気道秀和会
30 道場演武 青雲塾、大泉合気道同好会、合気道正武会、浜風合気会
33 道場演武 合気道奥州道場、志願会、合気道研修館合気道錬成会、流山合気道同好会
34 道場演武 つば合気道会、無為会、袖ヶ浦合気会、合気道ふれあい塾
35 道場演武 茨城支部道場、調布合気道会、合気道明倫塾、公益財団法人大阪合気会、合気道泰門会
36 本部道場少年部演武 本部道場少年部
37 本部道場一般演武(稽古法) 本部道場、般I、II、III、IV、V
38 師範演武 愛結会代表、野村直美、合気道奥州道場道場長、菅原美喜子、合気道弘能會明心館道場道場長、五月女重夫、青森道場道場長、工藤孝幸
39 師範演武 相生會師範、堀井悦二、大阪合気会指導部師範、吉田智賢、鈴木道場道場長、鈴木順子
40 師範演武 合気道福武道場道場長、追分拓哉、合気道爽武塾塾長、船越光雄、合気道神武錬成塾塾長、白川勝敏、武産合気道修練道場道場長、横山清一
41 自由演武 岩手山麓武風館館長、日高浩、尾張合気会会長、滝本清二、中央会合気守道場道場長、澤田俊晴
42 自由演武 合気道五十嵐道場道場長、五土和男、合気道研心会代表、如山惠吾、石志塾道場長、石原克博
43 自由演武 本部道場指導部師範、島海幸一、本部道場指導部師範、横田愛明、合気道大阪武育会会長、木村二郎
44 自由演武 茨城支部道場指導部師範、稲垣賢實、奈良合気会師範、窪田育典、名古屋合気会師範、和田昭
45 自由演武 本部道場指導部師範、安野正敏/岡昭一
46 自由演武 合気道敷島塾塾長、工藤泰助、合気道豊中正稔道場道場長、嶋本勝行
47 自由演武 本部道場指導部師範、遠藤征四郎、合気道祥平塾道場長、菅沼守人、合気道小林道場師範、小林保雄
48 自由演武 合気道小林道場師範、多田宏

○総合演武

- 合気道道主、植芝守央



内閣総理大臣賞は岡本久雄（兵庫）

第45回全日本高齢者武道大会

第45回全日本高齢者武道大会（主催Ⅱ全国老人福祉助成会、共催Ⅱ全日本高齢剣友会）が6月5日、4年

ぶりに日本武道館で開催された。大会には生涯武道を実践する約500名の

高齢剣士（52〜94歳）が参加。各試合場では、年齢を感じさせない熱い

試合が繰り広げられ、矍鑠とした雄姿が見られた。

寿A組と寿B組の優勝者による内閣総理大臣賞争奪戦では、寿B組優勝の岡本久雄（兵庫）が寿A組優勝

の上北勲也（愛知）を下し、内閣総理大臣賞に輝いた。

開会式では、国歌斉唱の後、全員で物故者（過去の大会出場者）に黙禱を捧げた。次に、有馬政孝全国老人福祉助成会理事が挨拶を行い、網代忠宏全日本剣道連盟会長、下村博文全日本剣道道場連盟会長がそれぞれ来賓祝辞を述べた。功労者顕彰、審判長挨拶に続き、今大会最高齢の

94歳で出場した中原千秋選手（剣道・長野）が選手宣誓を行った。

開会式の終了後、日本剣道形、居合、銃剣道形の演武が披露され、競技に入った。

剣道

■男子団体戦（1チーム5名）

令和元年度の前回大会優勝の東京都と3位の愛媛県が対戦。先鋒戦、次鋒戦、中堅戦と立て続けに3勝を奪った愛媛県が優勝に輝いた。

■女子団体戦（1チーム3名）

前回大会優勝の岩手県と3位の長野県が対戦。先鋒戦で尾曾恵子（長野）が一本勝ちし、中堅、大将は両者引き分け、1勝を守り抜いた長野県が見事優勝を果たした。

■寿A組（85歳以上）

決勝は、上北勲也（愛知）と大音善照（福岡）が対戦。両者、気合十分な技を繰り出すも、一本にはならず3分の試合時間が終了。延長戦で大音が場外に出てしまい、反則2回の累積で、上北の一本勝ちとなった。

■寿B組（80〜84歳）

岡本久雄（兵庫）と安藝俊男（山口）の決勝。岡本が試合時間内に一本を先取し、リードを守り抜いて優勝を果たした。

■内閣総理大臣賞争奪戦

寿A組優勝の上北と寿B組優勝の岡本が対決。実力伯仲の戦いは延長戦にもつれ込む。深く攻め入った上北に岡本が面を合わせると、旗が3本上がり、見事一本。岡本が内閣総理大臣賞の栄冠を手にした。

◎内閣総理大臣賞・寿B組優勝Ⅱ

岡本久雄選手（兵庫）



「日頃の練習の成果を出すことができ、非常に嬉し
いです。涙が出
るんです。（今後の目標について）

80歳を超えたので、剣道の稽古で体を動かし続けるとともに、健康にも



試合後、互いに礼をする岡本（右）と上北

気を使いながら、頑張っていきたい
と思います」

■特組（男子・75〜79歳）

小澤忠次（千葉）と櫻井章央（神奈川）の決勝戦。身長差をものともせず、小澤が鮮やかな面を放ち、一本勝ちで優勝を決めた。

■A〜C組の優勝者コメント

◎A組（70〜74歳）優勝Ⅱ

青木陽選手（神奈川）

「何度か出場していましたが、初めて優勝することができてとても嬉し
いです。まだまだ70歳を過ぎたばかりなので、これからも地道に稽古を
続けたいです」

◎B組（65〜69歳）優勝Ⅱ

宮崎重明選手（東京）



「父がこの大会で7回優勝をしているので、何とか自分も優勝したいと
思っていました。4回目の挑戦でや
つと実現できてホッとしています。
試合はもちろん楽しいのですが、最近
はいろいろな学校を回って稽古を

しているのです、そちらも剣道の楽し
みの一つになっています」

◎C組（55〜59歳）優勝Ⅱ

佐藤倫明選手（福岡）



「稽古の成果を出
していつも通り試
合をしようと思っ
ていましたが、団
体戦ではなかなか上手くないがずに足
を引っ張ってしまいました。個人戦
もそれを引きずってしまい、初戦は
苦戦しましたが、基本に立ち戻って
『勝敗は審判に任せる』と割り切っ
て試合をしたところ、優勝すること
ができました。課題の多い試合内容
だったので、まだまだ修煉してい
ます」

■文部科学大臣賞争奪戦

女子A組とB組の優勝者による争奪戦は、A組優勝の藤崎明美（千葉）とB組優勝の岩崎真由美（兵庫）が相見える。序盤から両者とも積極的に技を繰り出す。面を仕掛ける藤崎の手に、岩崎の小手が決まり一本。そのまま岩崎が一本勝ちで優勝した。

女子A組とB組の優勝者による争奪戦は、A組優勝の藤崎明美（千葉）とB組優勝の岩崎真由美（兵庫）が相見える。序盤から両者とも積極的に技を繰り出す。面を仕掛ける藤崎の手に、岩崎の小手が決まり一本。そのまま岩崎が一本勝ちで優勝した。

◎文部科学大臣賞・女子A組優勝Ⅱ
岩崎真由美選手（兵庫）



「家庭婦人大会がなくなっているから、日本武道館には試合の応援でしか来ることがなくなっていました。今回、久しぶりに武道館で試合ができて、さらに優勝までして、とても嬉しく思っています。（今後の目標について）試合が終わった瞬間に、『30年後もこの会場で試合したい』と思ったので、それを目標に稽古を続けたいです」

「家庭婦人大会がなくなっているから、日本武道館には試合の応援でしか来ることがなくなっていました。今回、久しぶりに武道館で試合ができて、さらに優勝までして、とても嬉しく思っています。（今後の目標について）試合が終わった瞬間に、『30年後もこの会場で試合したい』と思ったので、それを目標に稽古を続けたいです」



剣道・女子文部科学大臣杯争奪戦＝岩崎（左）が小手を決める



剣道・女子団体戦優勝＝長野県



剣道・男子団体戦優勝＝愛媛県

銃剣道

■団体戦（１チーム３名）

決勝は４連覇中の北海道と、選手２人で勝ち上がってきた静岡県が対決。先鋒・水船一洋（北海道）がノドを２本立て続けに決めて勝利。中堅の不戦勝と合わせて北海道が２勝を挙げ、５連覇の偉業を成し遂げた。

■個人戦

団体優勝で勢いをつけた水船一洋（北海道）と小川功（千葉）が決勝を戦った。隙のない両者の試合は、互いに決定打を許さず延長戦へ突入。水船が渾身の力を見せつけ、見事に上臈を決めた。



銃剣道・個人戦決勝＝上臈を決める水船（奥）

事に小川の打突部位を捉え、一本。悲願の初優勝を果たした。

◎団体戦優勝・個人戦優勝Ⅱ

水船一洋選手（北海道）

「今まで個人戦では準優勝までしか経験がなかったので、『やつと勝てた』という気持ちです。この大会のために若い選手とたくさん稽古をしましたが、今日の相手は年齢が違っているので、序盤はタイミングが合わずに苦戦しました。踏み込みのタイミングを変えてみたところ、上手くはまっていけることができました。また来年、団体戦も個人戦も連覇できるように、頑張ります」



銃剣道・団体戦優勝＝北海道

■基本競技

基本技は、決勝で小川功（千葉）が福田浩之（栃木）を破り、優勝に輝いた。

◎基本競技優勝Ⅱ

小川功選手（千葉）



「十数年ぶりにこの大会に出場することができて、とても嬉しいです。」

（今後の目標について）正しい銃剣道を長く続けていけるように、これからも精進します」



銃剣道・基本競技決勝＝小川（左）対福田

○最年長で剣道・寿A組に出場した
中原千秋選手（長野・94歳）



「（予選リーグで）二刀流の方と対戦しましたが、普段稽古の機会がなく、やられてしまいました。でも、とてもいい経験になりました。自動車の運転免許も返納したので、稽古は娘に送ってもらいながら月に2〜3回やっています。また来年も出られるように稽古を続けていきます」



開会式で堂々と選手宣誓をする
中原選手



4年ぶりの再開を喜び、武道談義に花を咲かせる選手たち



【大会結果】

	部門	優勝	準優勝	3位
剣道	男子団体	愛媛県	東京都	山形県 千葉県
	女子団体	長野県	岩手県	神奈川県 埼玉県
	寿A（85歳以上）	上北 鞠也（愛知）	大音 照義（福岡）	望月 房雄（神奈川） 上田 憲幸（福岡）
	寿B（80歳～84歳）	岡本 久雄（兵庫） ※内閣総理大臣賞獲得	安藝 俊男（山口）	福田 健治（埼玉） 山形 泰一（静岡）
	特（75歳～79歳）	小澤 忠次（千葉）	櫻井 章央（神奈川）	佐藤 和男（茨城） 山口 賢一郎（神奈川）
	A（70歳～74歳）	青木 陽（神奈川）	大都 堅（埼玉）	田中 正人（東京） 小笠原 明（埼玉）
	B（65歳～69歳）	宮崎 重明（東京）	針貝 義夫（茨城）	向井 俊二（愛媛） 遠山 晃（神奈川）
	C（55歳～59歳）	佐藤 倫明（福岡）	中村 俊和（神奈川）	増田 光男（茨城） 上原 宏（埼玉）
	女子A	藤崎 明美（千葉）	太田 恵子（千葉）	渡部 嘉子（山形） 永松 富士恵（埼玉）
	女子B	岩崎 真由美（兵庫） ※文部科学大臣賞獲得	関口 敦弥（埼玉）	有馬 秋子（神奈川） 大塚 有子（茨城）
銃剣道	団体戦	北海道	静岡県	山口県
	個人戦	水船 一洋（北海道）	小川 功（千葉）	乙丸 勝樹（千葉）
	基本技競技	小川 功（千葉）	福田 浩之（栃木）	松田 千真男（長野）

一般はNTT（本社） 女子は伊田テクノス（本社） 3連覇達成

第64回関東実業団剣道大会



一般の部決勝の先鋒戦。NTTの河寄（左）が果敢に攻める

第64回関東実業団剣道大会が6月4日、日本武道館で開催された。222チームが参加した一般の部はNTT（本社）、77チームが参加した女子の部は伊田テクノス（本社）がともに3連覇を果たした。

大会は午前9時に始まり、開会式の後、大道場に設けられた15の試合場で、選手たちは熱戦を繰り広げた。

一般の部の決勝に勝ち上がったのは、NTT（本社）と伊田テクノス（本社）。先鋒戦はNTTの河寄遼（せんと）が伊田テクノスの前田航輝から面と小手を奪い勝利を収めた。続く次鋒・中堅戦ともに決め手に欠き、時間切れで引き分け。負けると優勝を逃す伊田テクノスは副将戦で、冨末悠介が起死回生の面でNTTの丸山大輔から一本を先取。しかし、丸山がその流れを断ち切る胴を奪取すると続けて面を取って勝利し、NTTの優勝が決定、見事3連覇を成し遂げた。

大将戦はNTTの兵藤裕則が伊田テクノスの福居義久から面を決め、その後も終始落ち着いていた試合運びを見せ、時間切れで勝利を収めた。

女子の部の決勝は伊田テクノス



一般の部優勝＝NTT（本社）



女子の部決勝の大将戦。伊田テクノスの志藤（左）が面を狙う



女子の部優勝=伊田テクノス（本社）

（本社）とランテック（東京本社）が対戦。先鋒戦は伊田テクノスの北條李華が、ランテックの松村朋香から続けざまに面と小手を連取し快勝。中堅戦では伊田テクノスの小川梨々香が小手で先制すると、ランテックの吉武礼絵も反撃に出るも、時間切れで小川が勝利。この時点で伊田テクノスの優勝が決まった。大将戦も伊田テクノスの志藤綾子が面を先取しそのまま逃げ切って勝利。強さを見せた伊田テクノスが3連覇を達成した。

【大会結果】

（一般の部）

▼優勝

NTT（本社）

▼2位

伊田テクノス（本社）

▼3位

NTT東日本（東京）、NX商事（本社）

▼敢闘賞

富士フイルムビジネスイノベーション（本社）、三井住友海上（本店）、ソニー（本社）、三井住友海上（新宿）

▼最優秀選手賞

河寄遼（NTT本社）

（女子の部）

▼優勝

伊田テクノス（本社）

▼2位

ランテック（東京本社）

▼3位

東京海上日動（本店）、パナソニック（EW東京本社）

▼敢闘賞

NTT（本社）、NTT東日本（本社）、丸運、NTT東日本（東京）

▼最優秀選手賞

北條李華（伊田テクノス本社）

ていた山本が相小手面に乗り、見事な一本を決めた。藤島は片手面、逆胴と多彩な技で巻き返しを狙うも、時間切れとなり、山本が一本勝ちで優勝に輝いた。

◎優勝Ⅱ山本清吾選手（日体）



「優勝できたことは素直に嬉しいです。藤島選手とはいつも練習してきたので、決勝では遠慮なく戦うことができました。（今後の目標について）全日本学生選手権でも優勝を目指していますが、11月の全日本優勝大会（団体戦）で大学初の全日本制覇を目指しているので、

さらに頑張りたいと思います」

○準優勝Ⅱ藤島剣選手（日体）



「山本選手と試合の組み合わせ表を見ながら、『決勝で当たれるように頑張ろう』と目標を立てていました。それが実現した決勝は、もう全て出し切るつもりで臨みまして。準決勝では両足の筋肉が攣ってしまい、ドクターストップがかかるところだったので、何とか試合を続けることができました。昨年の全日本学生選手権では準々決勝で敗れてしまったので、今度こそ優勝できるように頑張ります」



準決勝＝山本（右）対三宅。山本が面を奪い決勝に進出



準決勝＝藤島（左）対中田。藤島が小手を決める



表彰式で整列するベスト8の選手たち



同門対決となった決勝で戦う山本（右）と藤島

【大会結果】

▽優勝Ⅱ山本 清吾（日体）

▽準優勝Ⅱ藤島 剣（日体）

▽第3位Ⅱ三宅 涼介（法政）

中田竜之介（国士舘）

▽敢闘賞Ⅱ西口 知成（日体）

平尾 尚武（筑波）

堤 光誠（筑波）

池田虎ノ介（筑波）

▽ベスト16以下の

全日本学生選手権大会出場者

小檜山琢仁、藤田脩人、三宅廉太郎、橋本和馬、鈴木智大、森田太陽、飯塚保斗、田城徳光、小畔直、鈴木太陽、小林柊弥、馬場魁斗、鈴木龍哉、留場啓伍、世良晃一朗、藤島心、福江杜偉、米田好太郎、听健介、河野隼佑、小野洋介、曾我部龍雅、阿比留宏貴、池田龍ノ介、林智輝、井上賢生、小嶋健太、林俊樹、中村成真、溝部楽、松崎尚牙、池田千浩、西憂祐、三戸広基、相馬武蔵、高橋京太郎、矢野将利、菊池嘉恩、丹治倫太郎、森川天斗、武石和輝、末永英大、門田功成、田中健生、江澤佑真、入君遥人、松井多聞、守安祥輝、中野峻、和田巨平、茂筑健、濱田大空

（所属校は省略）